

年金積立 インターナショナル・グロース・ファンド 〈愛称 DC Iグロース〉

運用報告書(全体版)

第21期(決算日 2022年4月25日)

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。
「年金積立 インターナショナル・グロース・ファンド」は、2022年4月25日に第21期の決算を行ないましたので、期中の運用状況をご報告申し上げます。
今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/海外/株式	
信託期間	2001年10月25日から原則無期限です。	
運用方針	主として「ベスト・バランス/海外株式マザーファンド」受益証券に投資を行ない、「MSCI-KOKUSA I インデックス(円ヘッジなし・円ベース)」を上回る投資成果をめざします。	
主要運用対象	年金積立 インターナショナル・グロース・ファンド	「ベスト・バランス/海外株式マザーファンド」受益証券を主要投資対象とします。
	ベスト・バランス/海外株式マザーファンド	世界各国の金融商品取引所上場株式を主要投資対象とします。
組入制限	年金積立 インターナショナル・グロース・ファンド	株式への実質投資割合には、制限を設けません。 外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。
	ベスト・バランス/海外株式マザーファンド	株式への投資割合には、制限を設けません。 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	毎決算時、原則として分配対象額のなかから、基準価額水準、市況動向などを勘案して分配を行なう方針です。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行なわないこともあります。	

<958417>

日興アセットマネジメント株式会社

東京都港区赤坂九丁目7番1号
www.nikkoam.com/

当運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター 電話番号：0120-25-1404
午前9時～午後5時 土、日、祝・休日は除きます。

●お取引状況等についてはご購入された販売会社にお問い合わせください。

【運用報告書の表記について】

・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額			MSCI-KOKUSAIインデックス (円ヘッジなし・円ベース)		株組入比率	投資信託 証券組入比率	純資産額
	(分配落)	税金 分配	期 騰落	(ベンチマーク)	騰落 率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
17期(2018年4月25日)	22,032	10	18.7	298.66	12.3	93.2	1.5	1,577
18期(2019年4月25日)	24,705	10	12.2	333.54	11.7	94.4	2.7	2,028
19期(2020年4月27日)	23,805	10	△ 3.6	299.92	△10.1	91.3	3.0	2,173
20期(2021年4月26日)	36,830	10	54.8	457.95	52.7	92.5	2.6	4,355
21期(2022年4月25日)	36,804	10	△ 0.0	550.33	20.2	90.4	3.0	4,501

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」は実質比率を記載しております。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「MSCI-KOKUSAIインデックス」は、「MSCI Inc.」が発表している、日本を除く世界の主要国の株式市場の合成パフォーマンスを表す指数です。同指数の(円ヘッジなし・円ベース)とは、現地通貨ベースの指数をヘッジを行わずに円換算したものです。なお、設定時を100として2022年4月25日現在知りえた情報に基づいて指数化しています。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		MSCI-KOKUSAIインデックス (円ヘッジなし・円ベース)		株組入比率	投資信託 証券組入比率
	騰落率	(ベンチマーク)	騰落率			
(期首) 2021年4月26日	円 36,830	% —	457.95	% —	% 92.5	% 2.6
4月末	37,622	2.2	465.78	1.7	92.4	2.7
5月末	37,596	2.1	472.91	3.3	92.0	2.6
6月末	39,194	6.4	484.89	5.9	90.2	2.5
7月末	39,358	6.9	491.90	7.4	92.3	2.6
8月末	40,571	10.2	504.06	10.1	92.2	2.6
9月末	39,228	6.5	492.43	7.5	93.4	2.5
10月末	41,322	12.2	528.53	15.4	92.2	2.7
11月末	40,677	10.4	526.27	14.9	91.0	2.8
12月末	41,235	12.0	548.05	19.7	90.9	2.8
2022年1月末	36,560	△ 0.7	509.79	11.3	93.0	3.0
2月末	36,394	△ 1.2	506.80	10.7	92.9	3.0
3月末	39,116	6.2	560.54	22.4	91.7	3.0
(期末) 2022年4月25日	円 36,814	% △ 0.0	550.33	% 20.2	% 90.4	% 3.0

(注) 期末の基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

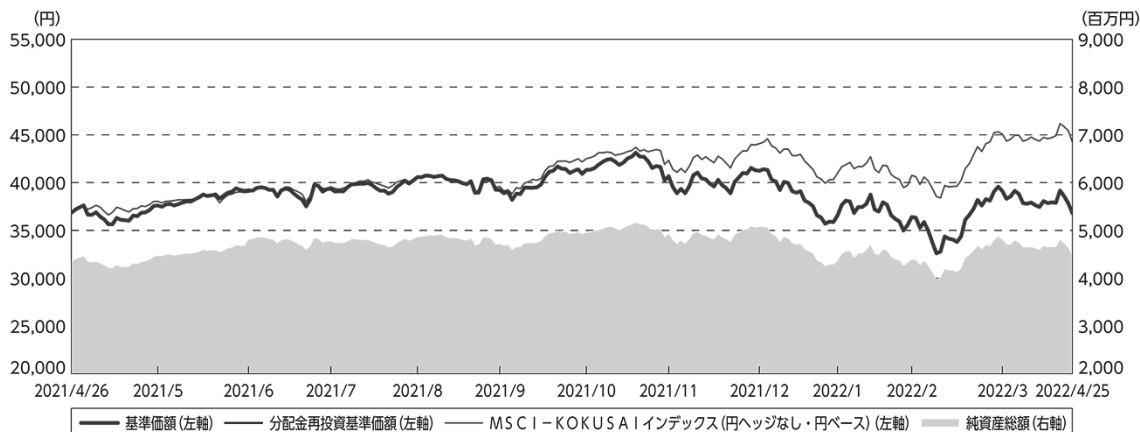
(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」は実質比率を記載しております。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しております。

○運用経過

(2021年4月27日～2022年4月25日)

期中の基準価額等の推移



期首: 36,830円

期末: 36,804円 (既払分配金 (税込み): 10円)

騰落率: △0.0% (分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金 (税込み) を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 分配金再投資基準価額およびMSCI-KOKUSA Iインデックス (円ヘッジなし・円ベース) は、期首 (2021年4月26日) の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) MSCI-KOKUSA Iインデックス (円ヘッジなし・円ベース) は当ファンドのベンチマークです。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドは、主として、「ベスト・バランス/海外株式マザーファンド」受益証券に投資を行ない、中長期的な観点から、MSCI-KOKUSA Iインデックス (円ヘッジなし・円ベース) の動きを上回る投資成果の獲得をめざして運用を行なっております。当作成期間中における基準価額の主な変動要因は、以下の通りです。

<値上がり要因>

- ・新型コロナウイルスのワクチン接種が進み経済正常化の加速期待が高まったほか、決算で業績が急回復した銘柄を物色する買いも指数を押し上げ、上昇基調が継続したこと。
- ・上昇をけん引してきたハイテク株が米国金利上昇による割高感から敬遠されると、相対的に出遅れ感の強かったバリュー株や高配当株への見直し買いが進むなど、成長株以外にも物色の対象が広がったこと。
- ・米国の政策金利の引き上げ圧力が強まり、日米の金利差の拡大観測を背景に円安が進行したこと。

<値下がり要因>

- ・多くの先進国市場においてインフレが進行し、主要中央銀行に対する量的金融緩和の縮小（テーパリング）や利上げへの圧力が上値の重しとなったこと。
- ・ロシアのウクライナ侵攻をきっかけにエネルギーや穀物の価格が一段と上昇したことから、世界景気の減速懸念が強まったこと。

投資環境

(株式市況)

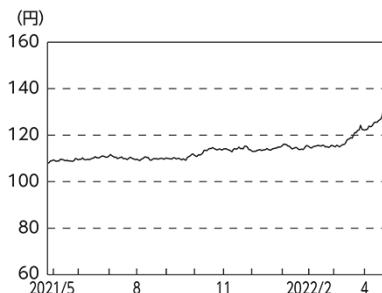
期間中のグローバル株式市場は、期間の初めと比べて上昇しました。

引き続き新型コロナウイルスのワクチン接種進展による経済正常化の加速期待が追い風となり、上昇基調で推移しました。感染力の強いデルタ株の感染急拡大による景気回復の遅れや金融緩和の早期縮小観測が警戒されつつも、良好な企業決算や景況感の改善などが追い風となり、2021年8月までは堅調な展開が続きました。その後、インフレ上昇に対応すべく先進国の中央銀行が相ついで金融緩和策の転機を探り始めたことから欧米の長期金利に上昇圧力が加かったほか、供給網の混乱によるインフレや早期利上げの観測、中国の景気減速リスク、新たな変異株であるオミクロン株の感染拡大に対する警戒感から調整しましたが、オミクロン株による経済への影響は限定的との楽観的な見方が広がると投資家心理が好転し、年末まで上値を迫る展開が続きました。しかし2022年に入ると、米国連邦準備制度理事会（FRB）が金融引き締めを急ぐ姿勢を鮮明にしたことから金融市場に動揺が広がり、株式市場は急落しました。想定以上の急激な引き締めは世界経済を冷やすとの懸念が高まり、ハイテク株を中心にリスクオフの売りが膨らみました。また、ロシアのウクライナ侵攻をきっかけにエネルギーや穀物の価格が一段と上昇したことを背景にインフレと景気停滞が併存するスタグフレーションのリスクが高まりましたが、その後は米国の金融政策を巡る不透明感の後退や原油価格の上昇一服が下支えし、戻り基調となりました。

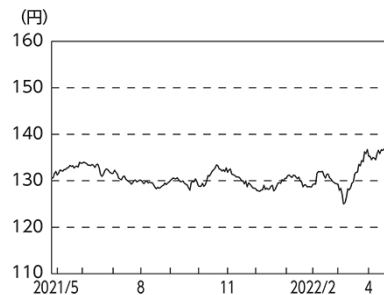
(為替市況)

期間中における主要通貨（対円）は、右記の推移となりました。

円／アメリカドルの推移



円／ユーロの推移



当ファンドのポートフォリオ

(当ファンド)

当ファンドは、「ベスト・バランス／海外株式マザーファンド」受益証券を高位に組み入れて運用を行ないました。

(ベスト・バランス／海外株式マザーファンド)

世界各国の金融商品取引所上場株式および店頭登録株式を中心に厳選投資を行ない、中長期的な観点から、世界の株式市場全体の動き（MSCI-KOKUSA Iインデックス（円ヘッジなし・円ベース））を上回る投資成果の獲得をめざして運用を行ないました。銘柄選定においては、原則として、企業収益の加速、成長局面の評価に焦点をあてたファンダメンタルズ（経済の基礎的条件）調査に基づくボトムアップの銘柄選択に注力しました。

また、産業間、投資対象国間で資産配分を図ることによりリスクの低減に努めました。

当ファンドのベンチマークとの差異

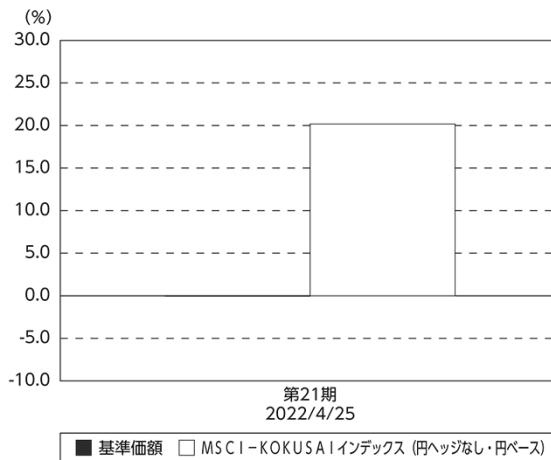
期間中における基準価額は、0.0%（分配金再投資ベース）の値下がりとなり、ベンチマークである「MSCI-KOKUSA Iインデックス（円ヘッジなし・円ベース）」の上昇率20.2%を概ね20.2%下回りました。

ベンチマークとの差異における主な要因は以下の通りです。

<プラス要因>

- ・銘柄選択では、不動産セクターや素材セクターにおける銘柄選択がプラスに寄与したこと。
- ・銘柄では、米国の製薬会社「Eli Lilly and Company」、米国の投資ファンド会社「Blackstone」、英国の鉱業・資源会社「Anglo American」などのオーバーウェイトがプラスに寄与したこと。
- ・セクター配分では、情報技術セクターのアンダーウェイトなどがプラスに寄与したこと。

基準価額とベンチマークの対比（期別騰落率）



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税込み）込みです。

(注) MSCI-KOKUSA Iインデックス（円ヘッジなし・円ベース）は当ファンドのベンチマークです。

<マイナス要因>

- ・銘柄選択では、情報技術セクターや一般消費財・サービスセクターなどにおける銘柄選択がマイナスに影響したこと。
- ・個別銘柄では、アイルランドのブックメーカー（賭け業者）「Flutter Entertainment」、RPA（ロボティック・プロセス・オートメーション）ソフトウェアの開発会社「UiPath」のオーバーウェイト、米国のデジタル家電メーカー「Apple」の非保有がマイナスに影響したこと。
- ・セクター配分では、エネルギーセクターのアンダーウェイト、コミュニケーション・サービスセクターのオーバーウェイトなどがマイナスに影響したこと。

分配金

分配金は、基準価額水準、市況動向などを勘案し、以下のとおりといたしました。なお、分配金に充当しなかった収益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項 目	第21期
	2021年4月27日～ 2022年4月25日
当期分配金	10
(対基準価額比率)	0.027%
当期の収益	—
当期の収益以外	10
翌期繰越分配対象額	27,833

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

○今後の運用方針

(当ファンド)

引き続き、ファンドの基本方針に則り、「ベスト・バランス／海外株式マザーファンド」受益証券を原則として高位に組み入れて運用を行ないます。

(ベスト・バランス／海外株式マザーファンド)

引き続き、世界各国の金融商品取引所上場株式および店頭登録株式を中心に厳選投資を行ない、中長期的な観点から、世界の株式市場全体の動き（MSCI-KOKUSA I インデックス（円ヘッジなし・円ベース））を上回る投資成果の獲得をめざして運用を行なう方針です。原則として、企業収益の加速、成長局面の評価に焦点をあてたファンダメンタルズ調査に基づくボトムアップの銘柄選択に注力していく方針です。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2021年4月27日～2022年4月25日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 772	% 1.975	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(343)	(0.878)	委託した資金の運用の対価
(販 売 会 社)	(386)	(0.987)	運用報告書など各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供などの対価
(受 託 会 社)	(43)	(0.110)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	5	0.013	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株 式)	(5)	(0.012)	
(投 資 信 託 証 券)	(0)	(0.000)	
(c) 有 価 証 券 取 引 税	8	0.021	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株 式)	(8)	(0.021)	
(投 資 信 託 証 券)	(0)	(0.000)	
(d) そ の 他 費 用	30	0.077	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(28)	(0.073)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(2)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	その他は、信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	815	2.086	
期中の平均基準価額は、39,072円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

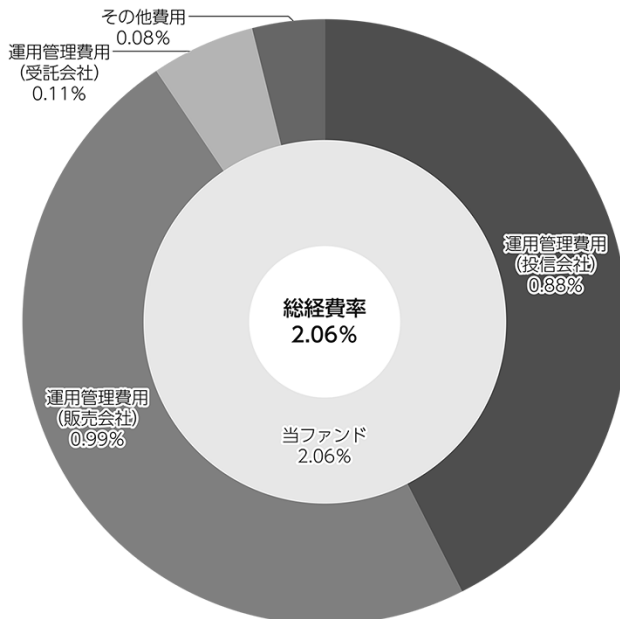
(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.06%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2021年4月27日～2022年4月25日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
ベスト・バランス/海外株式マザーファンド	千口 127,754	千円 649,208	千口 114,646	千円 586,095

○株式売買比率

(2021年4月27日～2022年4月25日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
	ベスト・バランス/海外株式マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	3,067,784千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	4,338,338千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.70

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注) 外国の取引金額は、各月末（決算日の属する月については決算日）の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算した金額の合計です。

○利害関係人との取引状況等

(2021年4月27日～2022年4月25日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 (2021年4月27日～2022年4月25日)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2021年4月27日～2022年4月25日)

該当事項はございません。

○組入資産の明細

(2022年4月25日現在)

親投資信託残高

銘柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ベスト・バランス／海外株式マザーファンド	880,196	893,304	4,386,926

(注) 親投資信託の2022年4月25日現在の受益権総口数は、893,304千口です。

○投資信託財産の構成

(2022年4月25日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ベスト・バランス／海外株式マザーファンド	4,386,926	96.2
コール・ローン等、その他	172,588	3.8
投資信託財産総額	4,559,514	100.0

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

(注) ベスト・バランス／海外株式マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産(4,399,771千円)の投資信託財産総額(4,421,935千円)に対する比率は99.5%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売相場場の仲値により邦貨換算したものです。1アメリカドル=128.81円、1カナダドル=101.21円、1ユーロ=139.19円、1イギリスポンド=165.21円、1スイスフラン=134.71円、1スウェーデンクローナ=13.51円、1ノルウェークローネ=14.38円、1デンマーククローネ=18.72円、1オーストラリアドル=92.94円、1香港ドル=16.42円、1南アフリカランド=8.24円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2022年4月25日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	4,559,514,337
コール・ローン等	156,871,545
ベスト・バランス/海外株式マザーファンド(評価額)	4,386,926,682
未収入金	15,716,110
(B) 負債	57,752,586
未払収益分配金	1,223,161
未払解約金	9,945,261
未払信託報酬	46,480,899
未払利息	40
その他未払費用	103,225
(C) 純資産総額(A-B)	4,501,761,751
元本	1,223,161,625
次期繰越損益金	3,278,600,126
(D) 受益権総口数	1,223,161.625口
1万口当たり基準価額(C/D)	36,804円

(注) 当ファンドの期首元本額は1,182,719,178円、期中追加設定元本額は440,253,605円、期中一部解約元本額は399,811,158円です。

(注) 1口当たり純資産額は3.6804円です。

○損益の状況 (2021年4月27日～2022年4月25日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 16,962
支払利息	△ 16,962
(B) 有価証券売買損益	19,383,628
売買益	87,793,605
売買損	△ 68,409,977
(C) 信託報酬等	△ 92,738,949
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 73,372,283
(E) 前期繰越損益金	1,026,780,297
(F) 追加信託差損益金	2,326,415,273
(配当等相当額)	(2,377,959,184)
(売買損益相当額)	(△ 51,543,911)
(G) 計(D+E+F)	3,279,823,287
(H) 収益分配金	△ 1,223,161
次期繰越損益金(G+H)	3,278,600,126
追加信託差損益金	2,326,415,273
(配当等相当額)	(2,378,922,981)
(売買損益相当額)	(△ 52,507,708)
分配準備積立金	1,025,557,136
繰越損益金	△ 73,372,283

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 親投資信託の信託財産の運用の指図に係る権限の全部又は一部を委託するために要した費用のうち、2021年4月27日～2022年4月25日の期間に当ファンドが負担した費用は20,446,403円です。

(注) 分配金の計算過程(2021年4月27日～2022年4月25日)は以下の通りです。

項 目	2021年4月27日～ 2022年4月25日
a. 配当等収益(経費控除後)	0円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越欠損金補填後)	0円
c. 信託約款に定める収益調整金	2,378,922,981円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	1,026,780,297円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	3,405,703,278円
f. 分配対象収益(1万口当たり)	27,843円
g. 分配金	1,223,161円
h. 分配金(1万口当たり)	10円

上記各資産の評価基準及び評価方法、また収益及び費用の計上区分等については、法律及び諸規則に基づき、一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して評価計上し処理しています。

○分配金のお知らせ

1 万口当たり分配金 (税込み)	10円
------------------	-----

○お知らせ

約款変更について

2021年4月27日から2022年4月25日までの期間に実施いたしました約款変更はございません。

当ファンドの主要投資対象先の直近の運用状況について、法令および諸規則に基づき、次ページ以降にご報告申し上げます。

ベスト・バランス／海外株式マザーファンド

運用報告書

第21期（決算日 2022年4月25日）
（2021年4月27日～2022年4月25日）

当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	2001年4月27日から原則無期限です。
運用方針	中長期的な観点から、「MSCI-KOKUSAIインデックス（円ヘッジなし・円ベース）」を上回る投資成果の獲得をめざします。
主要運用対象	世界各国の金融商品取引所上場株式を主要投資対象とします。
組入制限	株式への投資割合には、制限を設けません。 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。

ファンド概要

世界各国の金融商品取引所上場株式および店頭登録株式を中心に厳選投資を行ない、中長期的な観点から、世界の株式市場全体の動き（MSCI-KOKUSAIインデックス（円ヘッジなし・円ベース））を上回る投資成果の獲得をめざします。

投資対象銘柄については、グローバルな視点で企業調査、比較を行ない、産業の先導的立場にある高い質の大型成長企業に厳選投資をします。また、産業間、投資対象国間で資産配分を図ることによりリスクの低減につとめます。

株式の組入比率は原則として高位を維持します。

外貨建資産については、為替変動リスクの低減を図るため、為替ヘッジを行なうことがあります。為替ヘッジ比率は、マクロ環境、金利動向、ヘッジコストなどを勘案して決定します。また、ヘッジコストなどを勘案して、当該外貨建資産と異なる通貨により為替ヘッジを行なうこともあります。

ただし、資金動向、市況動向の急激な変化が生じたときなどならびに信託財産の規模によっては、上記の運用ができない場合があります。

日興アセットマネジメント

<935859>

【運用報告書の表記について】

・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額		MSCI-KOKUSAIインデックス (円ヘッジなし・円ベース)		株組入比率	投資信託 組入比率	純総資産額
	期騰落	中率	(ベンチマーク)	期騰落中率			
	円	%		%	%	%	百万円
17期(2018年4月25日)	26,886	21.6	262.68	12.3	95.6	1.6	2,402
18期(2019年4月25日)	30,853	14.8	293.37	11.7	96.9	2.8	1,977
19期(2020年4月27日)	30,189	△2.2	263.79	△10.1	93.9	3.1	2,111
20期(2021年4月26日)	48,224	59.7	402.78	52.7	94.9	2.7	4,244
21期(2022年4月25日)	49,109	1.8	484.03	20.2	92.7	3.0	4,386

(注)「MSCI-KOKUSAIインデックス」は、「MSCI Inc.」が発表している、日本を除く世界の主要国の株式市場の合成パフォーマンスを表す指数です。(円ヘッジなし・円ベース)とは、現地通貨ベースの指数をヘッジを行わずに円換算したものです。なお、設定時を100として2022年4月25日現在知りえた情報に基づいて指数化しています。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		MSCI-KOKUSAIインデックス (円ヘッジなし・円ベース)		株組入比率	投資信託 組入比率
	騰落	率	(ベンチマーク)	騰落率		
(期首) 2021年4月26日	円	%		%	%	%
	48,224	—	402.78	—	94.9	2.7
4月末	49,304	2.2	409.67	1.7	95.3	2.7
5月末	49,342	2.3	415.94	3.3	94.9	2.7
6月末	51,584	7.0	426.48	5.9	95.5	2.7
7月末	51,881	7.6	432.65	7.4	95.0	2.7
8月末	53,619	11.2	443.34	10.1	94.9	2.7
9月末	51,878	7.6	433.11	7.5	96.4	2.6
10月末	54,793	13.6	464.86	15.4	94.7	2.7
11月末	54,006	12.0	462.88	14.9	94.1	2.8
12月末	54,858	13.8	482.03	19.7	93.9	2.9
2022年1月末	48,572	0.7	448.38	11.3	96.1	3.1
2月末	48,428	0.4	445.75	10.7	95.5	3.1
3月末	52,198	8.2	493.02	22.4	94.5	3.1
(期末) 2022年4月25日	円	%		%	%	%
	49,109	1.8	484.03	20.2	92.7	3.0

(注)騰落率は期首比です。

○運用経過

(2021年4月27日～2022年4月25日)

基準価額の推移

期間の初め48,224円の基準価額は、期間末に49,109円となり、騰落率は+1.8%となりました。

基準価額の変動要因

期間中、基準価額に影響した主な要因は以下の通りです。

<値上がり要因>

- ・新型コロナウイルスのワクチン接種が進み経済正常化の加速期待が高まったほか、決算で業績が急回復した銘柄を物色する買いも指数を押し上げ、上昇基調が継続したこと。
- ・上昇をけん引してきたハイテク株が米国金利上昇による割高感から敬遠されると、相対的に出遅れ感の強かったバリュー株や高配当株への見直し買いが進むなど、成長株以外にも物色の対象が広がったこと。
- ・米国の政策金利の引き上げ圧力が強まり、日米の金利差の拡大観測を背景に円安が進行したこと。

<値下がり要因>

- ・多くの先進国市場においてインフレが進行し、主要中央銀行に対する量的金融緩和の縮小（テーパリング）や利上げへの圧力が上値の重しとなったこと。
- ・ロシアのウクライナ侵攻をきっかけにエネルギーや穀物の価格が一段と上昇したことから、世界景気の減速懸念が強まったこと。

(株式市況)

期間中のグローバル株式市場は、期間の初めと比べて上昇しました。

引き続き新型コロナウイルスのワクチン接種進展による経済正常化の加速期待が追い風となり、上昇基調で推移しました。感染力の強いデルタ株の感染急拡大による景気回復の遅れや金融緩和の早期縮小観測が警戒されつつも、良好な企業決算や景況感の改善などが追い風となり、2021年8月までは堅調な展開が続きしました。その後、インフレ上昇に対応すべく先進国の中央銀行が相対的に金融緩和策の転機を探り始めたことから欧米の長期金利に上昇圧力が加かったほか、供給網の混乱によるインフレや早期利上げの観測、中国の景気減速リスク、新たな変異株であるオミクロン株の感染拡大に対する警戒感から調整しましたが、オミクロン株による経済への影響は限定的との楽観的な見方が広がると投資家心理が好転し、年末まで上値を追う展開が続きしました。

基準価額の推移



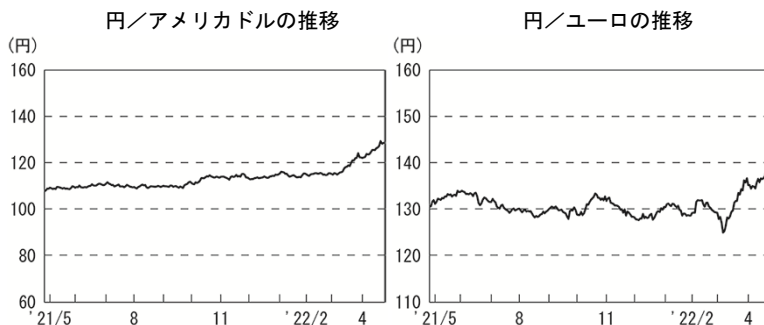
期首	期中高値	期中安値	期末
2021/04/26	2021/11/17	2022/03/08	2022/04/25
48,224円	57,320円	43,244円	49,109円

MSCI-KOKUSA I インデックス
(円ヘッジなし・円ベース) (指数化) の推移

しかし2022年に入ると、米国連邦準備制度理事会（FRB）が金融引き締めを急ぐ姿勢を鮮明にしたことから金融市場に動揺が広がり、株式市場は急落しました。想定以上の急激な引き締めは世界経済を冷やすとの懸念が高まり、ハイテク株を中心にリスクオフの売りが膨らみました。また、ロシアのウクライナ侵攻をきっかけにエネルギーや穀物の価格が一段と上昇したことを背景にインフレと景気停滞が併存するスタグフレーションのリスクが高まりましたが、その後は米国の金融政策を巡る不透明感の後退や原油価格の上昇一服が下支えし、戻り基調となりました。

（為替市況）

期間中における主要通貨（対円）は、右記の推移となりました。



ポートフォリオ

世界各国の金融商品取引所上場株式および店頭登録株式を中心に厳選投資を行ない、中長期的な観点から、世界の株式市場全体の動き（MSCI-KOKUSAIインデックス（円ヘッジなし・円ベース））を上回る投資成果の獲得をめざして運用を行ないました。銘柄選定においては、原則として、企業収益の加速、成長局面の評価に焦点をあてたファンダメンタルズ（経済の基礎的条件）調査に基づくボトムアップの銘柄選択に注力しました。

また、産業間、投資対象国間で資産配分を図ることによりリスクの低減に努めました。

当ファンドのベンチマークとの差異

期間中における基準価額は、1.8%の値上がりとなり、ベンチマークである「MSCI-KOKUSA I インデックス（円ヘッジなし・円ベース）」の上昇率20.2%を概ね18.3%下回りました。

ベンチマークとの差異における主な要因は以下の通りです。

<プラス要因>

- ・銘柄選択では、不動産セクターや素材セクターにおける銘柄選択がプラスに寄与したこと。
- ・銘柄では、米国の製薬会社「Eli Lilly and Company」、米国の投資ファンド会社「Blackstone」、英国の鉱業・資源会社「Anglo American」などのオーバーウェイトがプラスに寄与したこと。
- ・セクター配分では、情報技術セクターのアンダーウェイトなどがプラスに寄与したこと。

<マイナス要因>

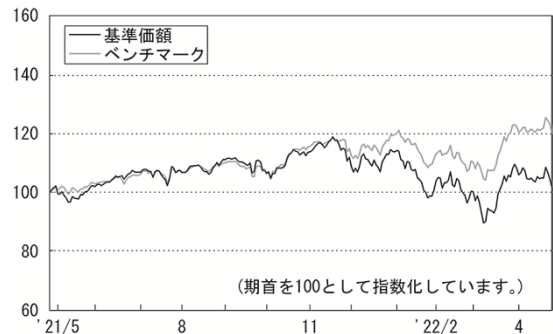
- ・銘柄選択では、情報技術セクターや一般消費財・サービスセクターなどにおける銘柄選択がマイナスに影響したこと。
- ・個別銘柄では、アイルランドのブックメーカー（賭け業者）「Flutter Entertainment」、RPA（ロボティック・プロセス・オートメーション）ソフトウェアの開発会社「UiPath」のオーバーウェイト、米国のデジタル家電メーカー「Apple」の非保有がマイナスに影響したこと。
- ・セクター配分では、エネルギーセクターのアンダーウェイト、コミュニケーション・サービスセクターのオーバーウェイトなどがマイナスに影響したこと。

○今後の運用方針

引き続き、世界各国の金融商品取引所上場株式および店頭登録株式を中心に厳選投資を行ない、中長期的な観点から、世界の株式市場全体の動き（MSCI-KOKUSA I インデックス（円ヘッジなし・円ベース））を上回る投資成果の獲得をめざして運用を行なう方針です。原則として、企業収益の加速、成長局面の評価に焦点をあてたファンダメンタルズ調査に基づくボトムアップの銘柄選択に注力していく方針です。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

基準価額とベンチマーク（指数化）の推移



○ 1 万口当たりの費用明細

(2021年4月27日～2022年4月25日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式) (投 資 信 託 証 券)	円 7 (7) (0)	% 0.013 (0.013) (0.000)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) 有 価 証 券 取 引 税 (株 式) (投 資 信 託 証 券)	11 (11) (0)	0.022 (0.022) (0.000)	(b) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (そ の 他)	39 (39) (0)	0.075 (0.075) (0.000)	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 その他は、信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	57	0.110	
期中の平均基準価額は、51,705円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2021年4月27日～2022年4月25日)

株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外	アメリカ	百株 1,030 (48)	千アメリカドル 9,662 (-)	百株 755	千アメリカドル 9,613
	カナダ	-	千カナダドル -	34	千カナダドル 441
	ユーロ		千ユーロ		千ユーロ
	ドイツ	64	514	2	41
	フランス	63	562	72	390
	オランダ	47	242	34	385
	スペイン	20 (35)	83 (158)	141 (89)	337 (30)
国	イギリス	189 (28)	千イギリスポンド 607 (3)	271 (14)	千イギリスポンド 429 (3)
	スイス	55 (-)	千スイスフラン 826 (△ 7)	23	千スイスフラン 150
	スウェーデン	37	千スウェーデンクローナ 906	25	千スウェーデンクローナ 631
	香港	295 (3)	千香港ドル 3,106 (-)	1,453	千香港ドル 7,699

(注) 金額は受け渡し代金。

(注) ()内は株式分割、予約権行使、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

投資信託証券

銘 柄		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
外 国	アメリカ	口	千アメリカドル	口	千アメリカドル
	PROLOGIS INC	393	55	581	89
	ISHARES MSCI TAIWAN-ETF	821	52	3,800	234
小 計		1,214	107	4,381	323

(注) 金額は受け渡し代金。

○株式売買比率

(2021年4月27日～2022年4月25日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	3,067,784千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	4,338,338千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.70

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注) 外国の取引金額は、各月末（決算日の属する月については決算日）の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算した金額の合計です。

○利害関係人との取引状況等

(2021年4月27日～2022年4月25日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 (2021年4月27日～2022年4月25日)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

○組入資産の明細

(2022年4月25日現在)

外国株式

銘柄	期首(前期末)		当 期 末		業 種 等
	株 数	株 数	評 価 額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)	百株	百株	千アメリカドル	千円	
AGILENT TECHNOLOGIES INC	37	36	441	56,883	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
ALBEMARLE CORP	—	18	363	46,855	素材
AMERICAN EXPRESS CO	48	46	835	107,625	各種金融
ALIBABA GROUP HOLDING-SP-ADR	25	—	—	—	小売
BLACKSTONE INC	87	69	763	98,362	各種金融
CERIDIAN HCM HOLDING INC	—	54	306	39,518	ソフトウェア・サービス
CONSTELLATION BRANDS INC-A	25	18	471	60,708	食品・飲料・タバコ
FEDEX CORP	14	—	—	—	運輸
FORTUNE BRANDS HOME & SECURI	49	—	—	—	資本財
ELI LILLY & CO	28	26	752	96,866	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
MASTERCARD INC	24	28	993	127,971	ソフトウェア・サービス
S&P GLOBAL INC	13	13	526	67,780	各種金融
PAGSEGURO DIGITAL LTD-CL A	89	—	—	—	ソフトウェア・サービス
SALESFORCE INC	35	36	629	81,084	ソフトウェア・サービス
SCHLUMBERGER LTD	—	119	496	63,998	エネルギー
SCHWAB (CHARLES) CORP	74	81	570	73,477	各種金融
SERVICENOW INC	7	6	297	38,314	ソフトウェア・サービス
SHOPIFY INC - CLASS A	4	—	—	—	ソフトウェア・サービス
SNAP INC - A	76	158	472	60,808	メディア・娯楽
SNOWFLAKE INC-CLASS A	14	15	265	34,252	ソフトウェア・サービス
BLOCK INC	—	45	463	59,763	ソフトウェア・サービス
TAIWAN SEMICONDUCTOR-SP ADR	—	45	433	55,793	半導体・半導体製造装置
THE WALT DISNEY CO.	35	45	535	69,042	メディア・娯楽
TJX COMPANIES INC	91	77	483	62,327	小売
UBER TECHNOLOGIES INC	80	169	522	67,268	運輸
UIPATH INC - CLASS A	—	58	105	13,634	ソフトウェア・サービス
WORKDAY INC-CLASS A	20	21	435	56,050	ソフトウェア・サービス
ADOBE INC	8	—	—	—	ソフトウェア・サービス
ADVANCED MICRO DEVICES	62	53	475	61,228	半導体・半導体製造装置
AFFIRM HOLDINGS INC	47	—	—	—	ソフトウェア・サービス
AIRBNB INC-CLASS A	18	42	655	84,485	消費者サービス
ALIGN TECHNOLOGY INC	—	11	400	51,646	ヘルスケア機器・サービス
AMAZON.COM INC	5	6	1,766	227,587	小売
BIOGEN INC	11	—	—	—	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
COINBASE GLOBAL INC -CLASS A	8	14	191	24,683	各種金融
PAYPAL HOLDINGS INC	36	—	—	—	ソフトウェア・サービス
ETSY INC	—	44	435	56,130	小売
META PLATFORMS INC	45	27	504	64,979	メディア・娯楽
ALPHABET INC-CL C	7	7	1,803	232,344	メディア・娯楽
HUNT (JB) TRANSPRT SVCS INC	24	—	—	—	運輸
ILLUMINA INC	12	15	495	63,882	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
INTUITIVE SURGICAL INC	5	16	418	53,956	ヘルスケア機器・サービス
LULULEMON ATHLETICA INC	16	16	582	75,042	耐久消費財・アパレル
MARVELL TECHNOLOGY INC	109	89	521	67,176	半導体・半導体製造装置
T-MOBILE US INC	62	64	831	107,117	電気通信サービス
MICROCHIP TECHNOLOGY INC	37	56	373	48,169	半導体・半導体製造装置

銘柄	株数	当期		業種等
		株数	評価額	
(アメリカ)	百株	百株	千アメリカドル	千円
NETFLIX INC	2	—	—	—
OKTA INC	—	9	126	16,278
RYANAIR HOLDINGS PLC-SP ADR	40	46	424	54,630
SEAGEN INC	28	—	—	—
YANDEX NV-A	10	—	—	—
ZOOMINFO TECHNOLOGIES INC-A	—	101	504	65,025
SAMSUNG ELECTR REG S-GDR	2	—	—	—
小計	株数・金額	1,490	1,814	21,681
	銘柄数<比率>	43	39	—
				<63.7%>
(カナダ)			千カナダドル	
CANADIAN NATL RAILWAY CO	34	—	—	—
小計	株数・金額	34	—	—
	銘柄数<比率>	1	—	—
				<-%>
(ユーロ…ドイツ)			千ユーロ	
VOLKSWAGEN AG-PFD	26	27	413	57,538
ZALANDO SE	—	60	244	33,989
小計	株数・金額	26	87	657
	銘柄数<比率>	1	2	—
				<2.1%>
(ユーロ…フランス)				
ACCOR SA	110	139	419	58,415
CAP GEMINI SA	—	20	395	55,054
SCHNEIDER ELECTRIC SE	34	35	501	69,788
WORLDDLINE SA	59	—	—	—
小計	株数・金額	204	194	1,316
	銘柄数<比率>	3	3	—
				<4.2%>
(ユーロ…オランダ)				
ASML HOLDING NV	9	7	403	56,210
DAVIDE CAMPARI-MILANO NV	331	341	361	50,318
AIRBUS GROUP SE	48	49	523	72,823
FERRARI NV	21	20	401	55,897
HEINEKEN NV	43	47	454	63,272
小計	株数・金額	454	466	2,144
	銘柄数<比率>	5	5	—
				<6.8%>
(ユーロ…スペイン)				
CELLNEX TELECOM SA	88	128	578	80,479
CELLNEX TELECOM SA-RTS	89	—	—	—
INDITEX	124	—	—	—
小計	株数・金額	302	128	578
	銘柄数<比率>	3	1	—
				<1.8%>
ユーロ計	株数・金額	987	877	4,697
	銘柄数<比率>	12	11	—
				<14.9%>
(イギリス)			千イギリスポンド	
ANGLO AMERICAN PLC	141	152	527	87,134
ASTRAZENECA PLC	45	46	478	78,973
DIAGEO PLC	—	73	285	47,114
INTERMEDIATE CAPITAL GROUP	112	156	256	42,317
FLUTTER ENTERTAINMENT PLC	30	34	285	47,141
SMITH & NEPHEW PLC	200	—	—	—
小計	株数・金額	530	463	1,832
	銘柄数<比率>	5	5	—
				<6.9%>
(スイス)			千スイスフラン	
JULIUS BAER GROUP LTD	85	69	330	44,563

銘柄	株数	株数	当 期 末		業 種 等	
			評 価 額	評 価 額		
	株 数	株 数	外貨建金額	邦貨換算金額		
(スイス)	百株	百株	千スイスフラン	千円		
LONZA GROUP AG-REG	—	5	362	48,843	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
CIE FINANCIERE RICHEMON-REG	—	41	492	66,283	耐久消費財・アパレル	
小 計	株 数 ・ 金 額	85	117	1,185	159,691	
	銘柄 数 < 比 率 >	1	3	—	< 3.6% >	
(スウェーデン)			千スウェーデンクローナ			
ASSA ABLOY AB-B	196	202	5,191	70,133	資本財	
SANDVIK AB	187	193	3,911	52,847	資本財	
小 計	株 数 ・ 金 額	383	395	9,102	122,981	
	銘柄 数 < 比 率 >	2	2	—	< 2.8% >	
(香港)			千香港ドル			
PING AN INSURANCE GROUP CO-H	327	—	—	—	保険	
SANDS CHINA LTD	950	—	—	—	消費者サービス	
TECHTRONIC INDUSTRIES CO	—	191	2,161	35,483	資本財	
TENCENT HOLDINGS LTD	68	—	—	—	メディア・娯楽	
小 計	株 数 ・ 金 額	1,346	191	2,161	35,483	
	銘柄 数 < 比 率 >	3	1	—	< 0.8% >	
合 計	株 数 ・ 金 額	4,857	3,859	—	4,067,383	
	銘柄 数 < 比 率 >	67	61	—	< 92.7% >	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 邦貨換算金額欄の< >内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

外国投資信託証券

銘柄	口数	口数	当 期 末		比 率	
			評 価 額	評 価 額		
	口 数	口 数	外貨建金額	邦貨換算金額		
(アメリカ)	口	口	千アメリカドル	千円	%	
PROLOGIS INC	4,227	4,039	681	87,784	2.0	
ISHARES MSCI TAIWAN-ETF	9,143	6,164	350	45,209	1.0	
合 計	口 数 ・ 金 額	13,370	10,203	1,032	132,993	
	銘柄 数 < 比 率 >	2	2	—	< 3.0% >	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

○投資信託財産の構成

(2022年4月25日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
株式	4,067,383	92.0
投資信託受益証券	45,209	1.0
投資証券	87,784	2.0
コール・ローン等、その他	221,559	5.0
投資信託財産総額	4,421,935	100.0

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

(注) 当期末における外貨建純資産(4,399,771千円)の投資信託財産総額(4,421,935千円)に対する比率は99.5%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1アメリカドル=128.81円、1カナダドル=101.21円、1ユーロ=139.19円、1イギリスポンド=165.21円、1スイスフラン=134.71円、1スウェーデンクローナ=13.51円、1ノルウェークローネ=14.38円、1デンマーククローネ=18.72円、1オーストラリアドル=92.94円、1香港ドル=16.42円、1南アフリカランド=8.24円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2022年4月25日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	4,437,651,733
コール・ローン等	214,377,669
株式(評価額)	4,067,383,706
投資信託受益証券(評価額)	45,209,496
投資証券(評価額)	87,784,075
未収入金	18,797,915
未収配当金	4,098,872
(B) 負債	50,721,379
未払金	35,005,269
未払解約金	15,716,110
(C) 純資産総額(A-B)	4,386,930,354
元本	893,304,014
次期繰越損益金	3,493,626,340
(D) 受益権総口数	893,304,014口
1万口当たり基準価額(C/D)	49,109円

(注) 当ファンドの期首元本額は880,196,390円、期中追加設定元本額は127,754,277円、期中一部解約元本額は114,646,653円です。

(注) 2022年4月25日現在の元本の内訳は以下の通りです。

・年金積立国際ナショナル・グロス・ファンド 893,304,014円

(注) 1口当たり純資産額は4.9109円です。

○損益の状況 (2021年4月27日～2022年4月25日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	37,339,651
受取配当金	36,649,867
その他収益金	690,974
支払利息	△ 1,190
(B) 有価証券売買損益	45,258,366
売買益	1,010,401,583
売買損	△ 965,143,217
(C) 保管費用等	△ 3,437,131
(D) 当期損益金(A+B+C)	79,160,886
(E) 前期繰越損益金	3,364,460,704
(F) 追加信託差損益金	521,453,781
(G) 解約差損益金	△ 471,449,031
(H) 計(D+E+F+G)	3,493,626,340
次期繰越損益金(H)	3,493,626,340

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

上記各資産の評価基準及び評価方法、また収益及び費用の計上区分等については、法律及び諸規則に基づき、一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して評価計上し処理しています。

○お知らせ

約款変更について

2021年4月27日から2022年4月25日までの期間に実施いたしました約款変更はございません。